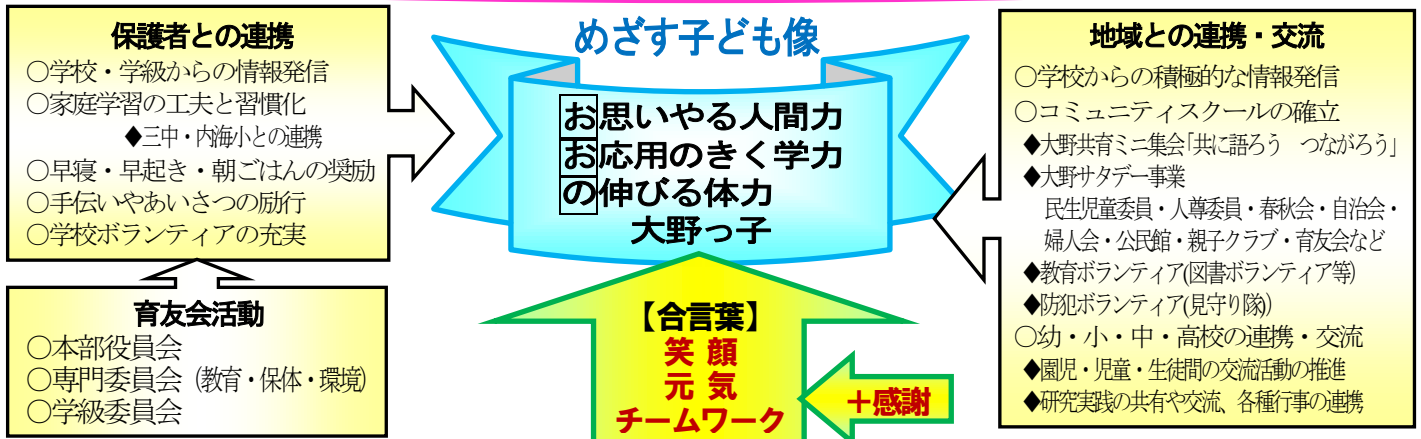
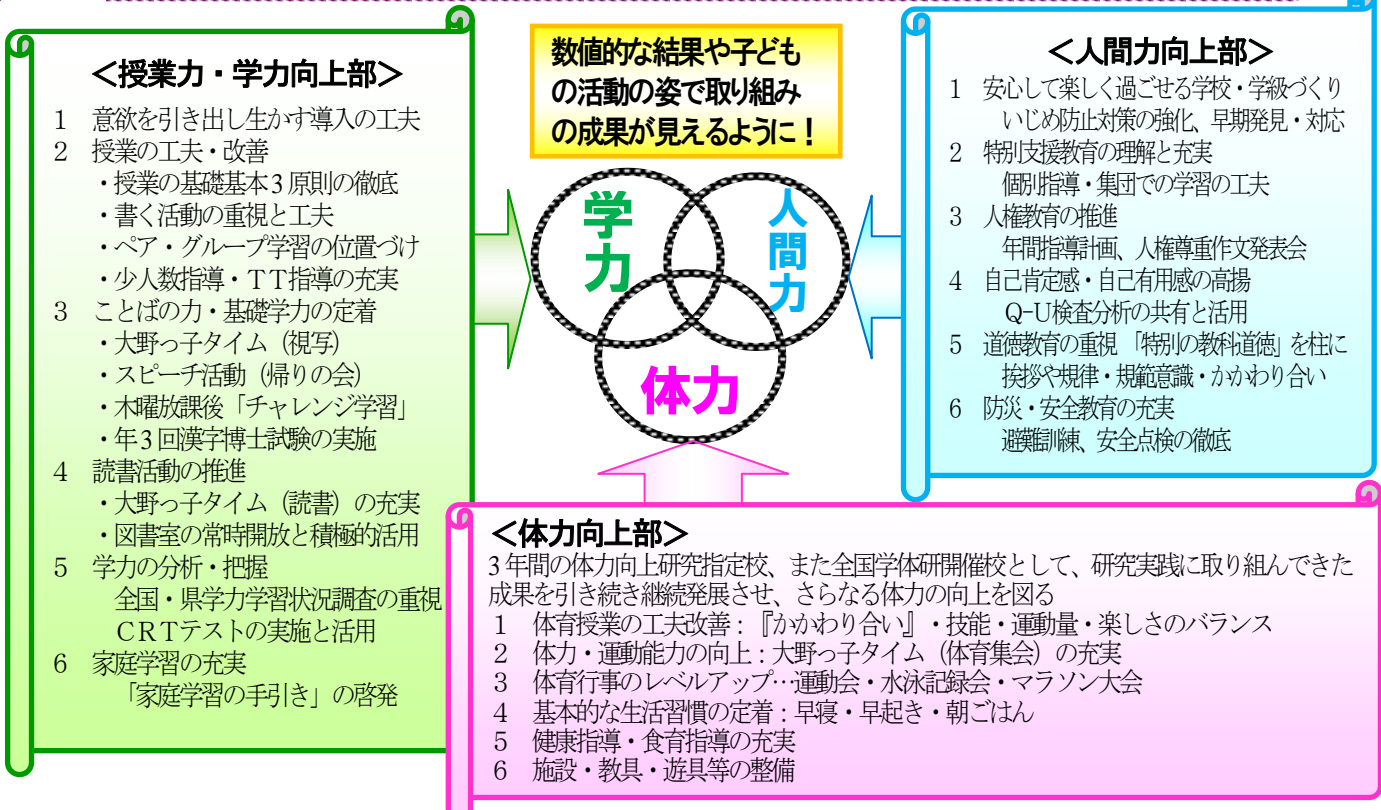


学校教育目標

一人ひとりを生かし 心身ともに健康で 自ら学ぶ力を育てる



H30 研究主題 自分の思いや考えを表現し、共に学び合う大野っ子の育成 ~ 書くことを通して ~



= 平成30年度における具体的手だて =

キーワード『書くことを通して』

◇ 児童の主体性・協働性の向上

- 書くために考える。書くことで自分の思いや考えを整理する。書いていることで伝えやすく、比較しやすい。
- 国語科を中心に、子供同士の『かかわりあい』を大切にし、主体的積極的に思いを伝え高め合う授業づくり
- 大野っ子タイムの充実（月：基礎学力、火：集会、水：読書、木：基礎学力、金：体育）
- ことばの力・基礎学力の定着（視写、学力UP放課後「チャレンジ学習」毎週木曜日・4.5.6年生対象等）

◇ 教職員の同僚性の高揚と研究体制の確立【平成31年度和歌山県小学校国語教育研究大会の開催に向けて】

- 国語を主とする研究主題に沿った授業展開（書く活動、ペア・グループによる協働的な学び）の工夫
- 低・中・高学年部会を基盤とした授業研究（部会での練り合い、大・小研究授業）の充実
- Q-Uテスト・全国及び県学力学習状況調査・CRTテストの分析・共有・活用

◇ 家庭や地域とのつながりの強化

- 家庭学習の充実・徹底（三中・内海小との連携による「家庭学習の手引き」の活用）
- コミュニティスクールの確立（学校運営協議会・共有ミニ集会、サタデー事業、ボランティアの活用等）